



2025年10月1日

尚徳福祉会 末長こぐま保育園

いちご組担任

朝夕は少しずつ涼しくなり秋の訪れを感じます。戸外で遊ぶにはとても良い季節となりました。いちご組も元気に散歩に出かけています。帽子を嫌がらずに被ったり、保育者と手を繋いでお散歩に出かけたり、そして、マイシューズで公園を歩くようになってきたりとそれぞれの成長を感じます。

葉っぱの色付きやどんぐり拾いなど、秋の自然は楽しい変化がいっぱいあります。散歩車に乗ったり、保育者と手を繋いで歩いたりしながら戸外での活動を取り入れ、季節の移り変わりを子どもたちとたくさん感じていきたいです。

※水遊びやシャワーの準備とお洗濯をありがとうございました。引き続き、毎日のお着替え、散歩の靴・靴下の準備をお願いいたします。



子どもたちの様子

すこしずつ言葉がでてきて、喃語や一語を駆使してお友だちとコミュニケーションを取っているように感じます。保育者の「お外」「手を洗おう」「ご飯」などの言葉を理解して、扉、水道、椅子とその場所へ移動をしています。

自分で動けるようになった分、椅子に立ち上がったり、お友だちや棚と「ごっつんこ」したりと「危ない！」と思う場面が増えました。子どもたちの気持ちを大切にしつつ、安全に過ごせるように見守っています。

音楽あそびが好きで、「ちょち、ちょち、あわわ」の手遊び歌では、手拍子をしたり、頭やひじをポンポンさせたりして楽しんでいます。ドラムのおもちゃで歌が流れると身体を揺らしてリズムを取ったり、ペンギンの体操の絵本を読むとペンギンと同じポーズを取り、一緒に体操を楽しんでいます。良く見ていると身体の部位も少しずつ理解して頭、手、お腹、等、名前を聞き分けて動かしています。



薄着で過ごそう！

着替えは半袖メインでご用意ください。また、長袖は薄手のものをお持ちください。

子どもは皮膚感覚を刺激されて育ちます。外気温を肌で感じることで体温を調整する力や体内の水分を逃がさないようにする力が育っていきます。身体機能も発達途上の子ども達は厚着になると動きづらく、転倒したときに手で身体が支えられずに思わぬ怪我を引き起こすこともあります。子どもの服装は大人より一枚少なくするというのを目安に調整してあげてください。

また、手足が冷たいと感じても手足の付け根や体幹が温かければ寒くはないということなので触って確かめてみてください。登降園時に肌寒いようでしたら半袖の上に薄手の上着やトレーナーを着用し、園に着いたら一枚脱ぐのも良いですね♪

※ズボンは、怪我の予防の為、短パンではなく膝が隠れる長さをご用意ください。

